

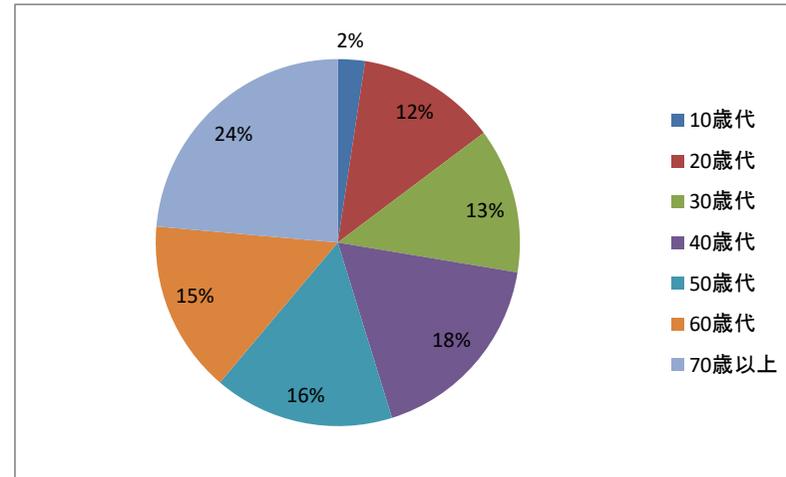
第4回 防災意識についてのアンケート

【アンケート実施期間】 令和5年7月28日～令和5年8月11日

【アンケートの目的】 防災知識等の普及啓発方法検討用

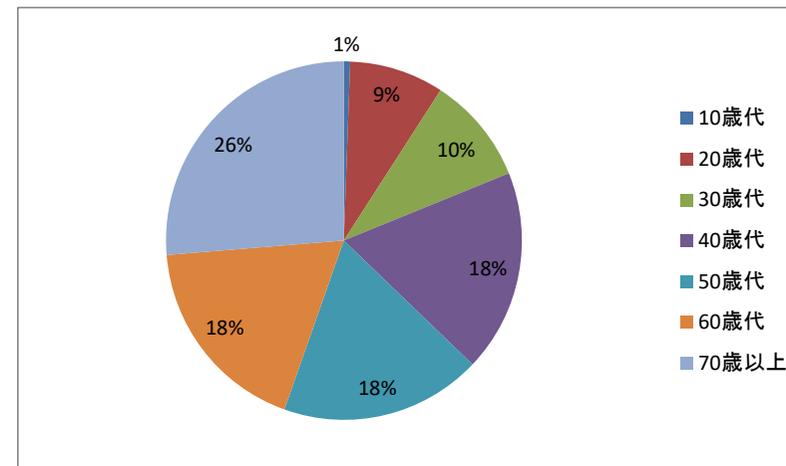
【対象者数】 250 名

内訳	人数	%
10歳代	6	2.4
20歳代	31	12.4
30歳代	32	12.8
40歳代	44	17.6
50歳代	40	16.0
60歳代	38	15.2
70歳以上	59	23.6
計	250	100.0



【回答者数】 175 名

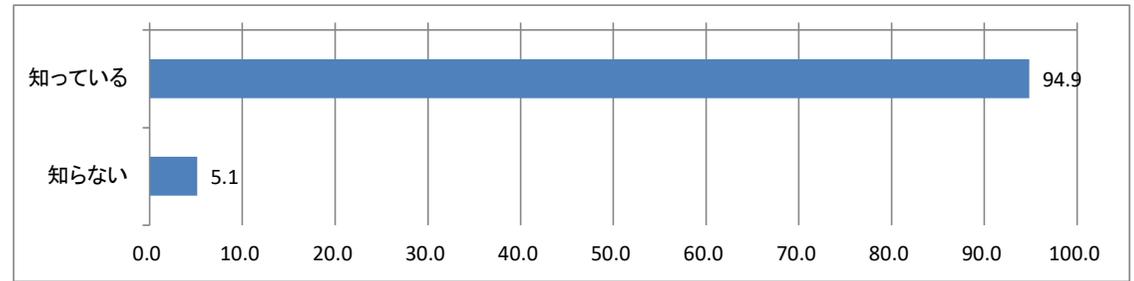
内訳	人数	%
10歳代	1	0.6
20歳代	15	8.6
30歳代	17	9.7
40歳代	32	18.3
50歳代	32	18.3
60歳代	32	18.3
70歳以上	46	26.3
計	175	100.0



【回答率】 70.0%

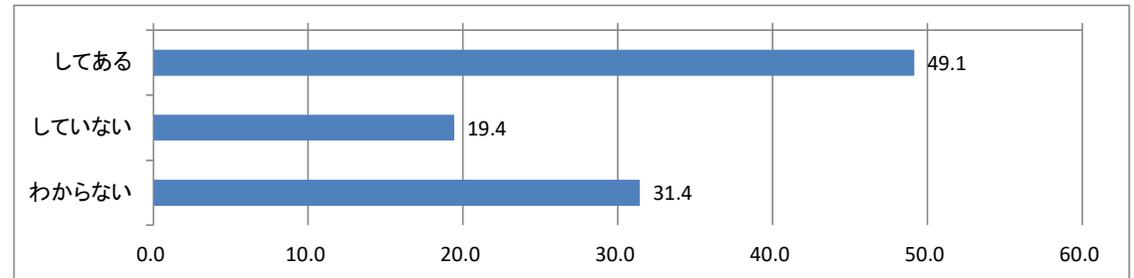
問1 金沢市からの避難情報は市内62の校下・地区ごとに発令されますが、あなたの家がある校下・地区を知っていますか。

回答	人数	%
知っている	166	94.9
知らない	9	5.1



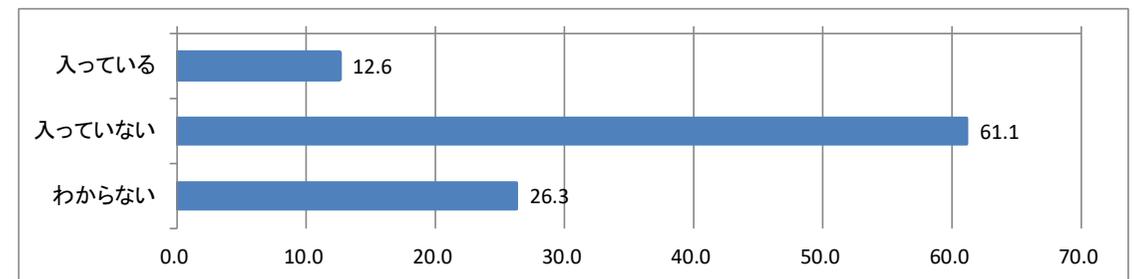
問2 あなたの家は耐震化してありますか。

回答	人数	%
してある	86	49.1
していない	34	19.4
わからない	55	31.4



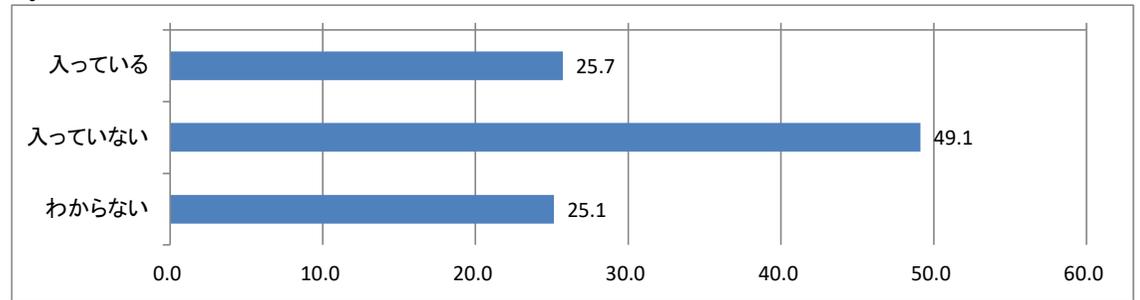
問3 あなたの家は津波ハザードマップの警戒区域に入っていますか。

回答	人数	%
入っている	22	12.6
入っていない	107	61.1
わからない	46	26.3



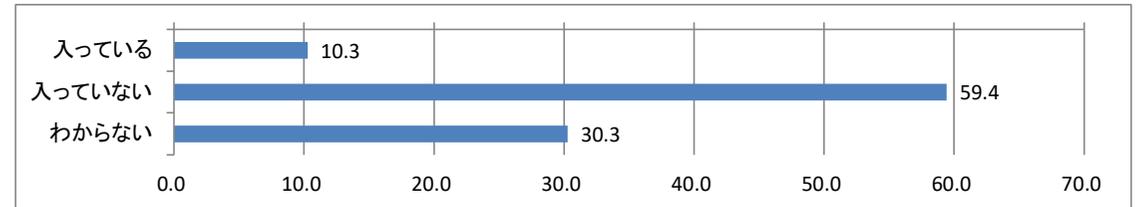
問4 あなたの家は洪水ハザードマップの浸水想定区域に入っていますか。

回答	人数	%
入っている	45	25.7
入っていない	86	49.1
わからない	44	25.1



問5 あなたの家は土砂災害（特別）警戒区域に入っていますか。

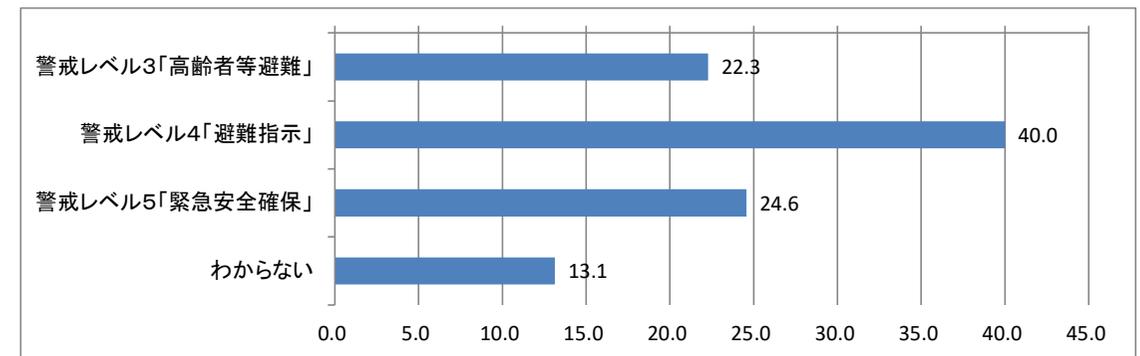
回答	人数	%
入っている	18	10.3
入っていない	104	59.4
わからない	53	30.3



問6 あなたが避難行動を開始する避難情報はどれですか。

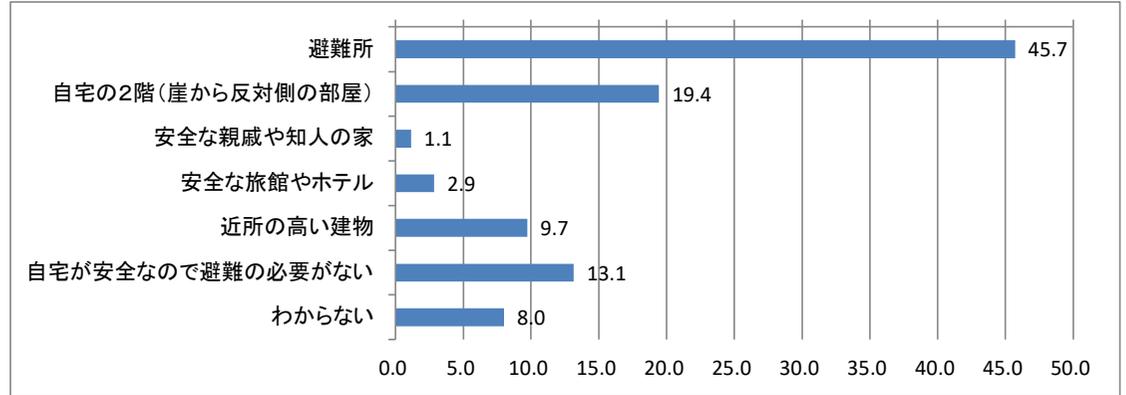
※避難行動とは難を逃れる行動であり、必ずしも避難所へ行くことを指す言葉ではありません。

回答	人数	%
警戒レベル3「高齢者等避難」	39	22.3
警戒レベル4「避難指示」	70	40.0
警戒レベル5「緊急安全確保」	43	24.6
わからない	23	13.1



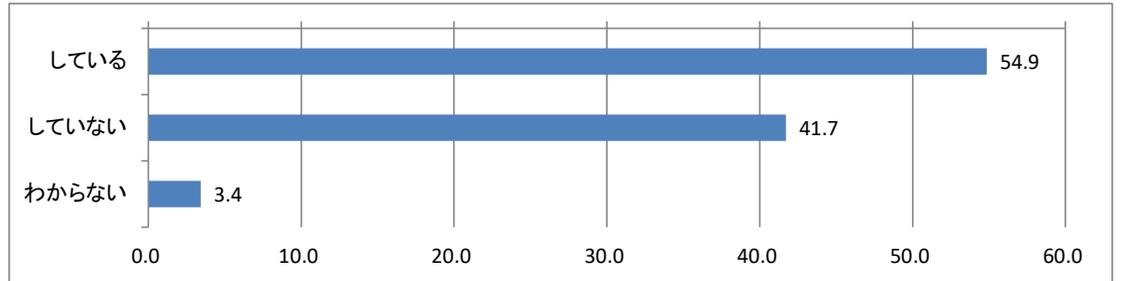
問7 あなたや家族の避難する場所はどこですか。

回答	人数	%
避難所	80	45.7
自宅の2階(崖から反対側の部屋)	34	19.4
安全な親戚や知人の家	2	1.1
安全な旅館やホテル	5	2.9
近所の高い建物	17	9.7
自宅が安全なので避難の必要がない	23	13.1
わからない	14	8.0



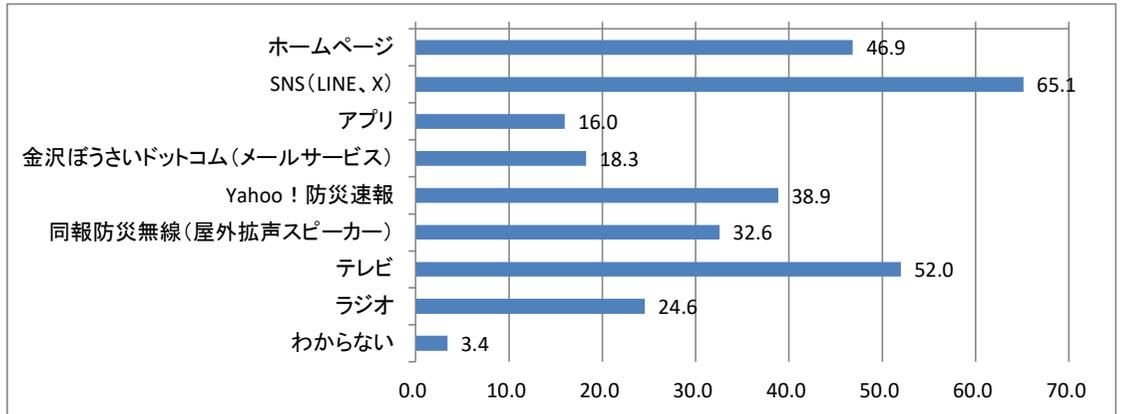
問8 あなたの家には最低3日間、自分や家族が生活するための食料や生活必需品を備えていますか。

回答	人数	%
している	96	54.9
していない	73	41.7
わからない	6	3.4



問9 あなたの知っている金沢市からの避難情報配信ツールについて(複数回答可)

回答	人数	%
ホームページ	82	46.9
SNS(LINE、X)	114	65.1
アプリ	28	16.0
金沢ぼうさいドットコム(メールサービス)	32	18.3
Yahoo!防災速報	68	38.9
同報防災無線(屋外拡声スピーカー)	57	32.6
テレビ	91	52.0
ラジオ	43	24.6
わからない	6	3.4



問10 防災講座やイベントで「こんなことが知りたい。」「災害に備えるきっかけになる。」と思う企画があればご提案ください。

金沢市の防災について、その取り組みの長期ビジョンを知りたい

家族の人数や年齢による貯蓄物資の目安を知りたい

怪我人や病人の緊急対応など。

自分の今まで防災意識は低かったので、ゼロベースで居住地域の事を教えて欲しいです。

トイレの問題。匂い、始末など、震災の避難所は大変汚いので

防災スマホ教室

地域の防災団体の情報

高齢者向けの防災講座をリモートで開催できれば参加したいです。

森本富樫活断層の活動見込みと想定される被災エリア・規模について現時点での情報が知りたい。

過去に災害のあった場所の痕跡をたどるツアー

岩手県に住んでいた時に東日本震災を経験した者として金沢市の地震に対する備えに歯がゆさを感じています。大規模な地域一斉訓練を計画して防災意識のレベルアップが必要だと思えます。

防災を学べる施設ができたら行ってみたい。富山の四季防災館のような災害を体験できると防災を考えるきっかけになると思う。

犀川の左岸に近いのだが、確かハザードマップからは、外れていたはず。建物は新築して30年経つのだが、耐震構造かどうかは何処で分かるのか？津波警報が出た時は、垂直避難することしか知らないが、それでいいのか？

今回、このアンケートによって、自分が何も考えていなかったことが分かった。災害に出くわしたことがないのも理由の一つだ。回覧板に回してほしい。

チラシやパンフレットなどに記載されている非常時の持ち出しグッズはリュックに入れるとかなりの重さです。健康体のときは背負って避難が可能でしたが、現在一人暮らしとなり、病後の身には背負って避難することは不可能とわかりました。避難所(私の場合は小学校)にストックしてあるものを教えていただけたら、最低限の物を選ぶ参考になります。一人で避難することが難しい状況の方は実際に避難できるか不安だと思えます。災害時足元が悪い中避難可能なんでしょうか。

防災グッズあれこれ 講座

防災グッズ全部の揃え方や消費期限、トイレなどの必需事項—TVでやってたが、実際に練習しないとできなさそうで、そうなった時のシュミレーション的な場があるといいです

万一に備え、専門的知識等を有する防災士の資格取得者を地域・町会・区(班)割りごとに配置に必要な人員の確保を行う。防災に備えるとともに災害時の自助、共助の理解が深まると思う。

校区内の後期高齢者数。災害時の支援に把握。

自分が避難しようとしている、避難所のようなすがわかるアプリがあるといいと思う。

あなたの地域のハザードマップ選定考察講座

これだけ異常気象が続いていると真剣に考えなくてはいけないという気持ちになったりします。具体的なイベントは思いつかないですが、回覧板での案内もほしいところですよ

電気、ガス、水道が止まったときの安全確保、復旧までの想定日数

二階に避難するか、避難所へいくかの境目がよくわからない。避難所は何を持っていくべきか？

避難した後の避難所での生活はどんなか具体的に知りたいです。避難が必要になれば指定の避難所に避難しますが、そのあとは、近くのホテルにでも行きたいです。ただホテル等も非常事態でしょう。市がホテルなどの手配の手助けを避難者に掲示などで提示して下さるのでしょうか？

講座やイベント参加は希望して無く、新聞やフリーペーパーまたは防災アプリで発信有れば嬉しい。

土砂崩れも多いので危険なところなどわかれば良い。

防災無線の音声聞き取り難いのですが、何か工夫できませんか？何を言っているのかわからない時があります。

ストーリー性のある漫画仕立てで災害時の避難判断の様子などを描き、大きな商業施設のホール等で見せて視聴者には施設ポイント付けたり防災グッズの販売もしたらWIN WINで良いかなと思います

ペットを含めた防災講座
避難所に行ったらまず何をすべきかとか、避難所生活になった場合の注意点や持参するものについての講座が開かれるといいと思います。
津波や火災のデモンストレーションの体験出来る体験
非常災害時には通信連絡手段の確保が重要で、災害発生に備えた各防災訓練に合わせてのデモンストレーションを是非企画して下さい。
空(雲や鳥等の動き)の様子を観察する時、注意すべき点、怪我をした時や体調が良く無い、応急処置の仕方や医薬品の代用になる物を知っておきたい。
アプリなどあるのであればもっと知らせてほしい
台風のときに家を防備するための備えや、地震やボヤなど咄嗟のときにどう対応すればいいのかについて、実践的な練習をしてみたい。
緊急の際、高齢者の避難指示や避難を直接助ける人は具体的に誰がするのですか。
飼い犬を連れて歩いて避難できる場所
講座やイベントの開催日時や場所に拘束されないオンラインやVRを使った講座やイベントをしてほしい。
色々な事例を紹介して対処方法を教えてほしいです。
上記の津波危険地域などの情報をわかりやすくしてほしい。
住んでいる地域は、避難をしたことがありません。地域によって常に防災について訓練をしているところと開催をしていない所の差が大きいと思います。強制まではいきませんが市として指導が必要ではないかと思えます。
防災グッズの紹介
町民全体が対象となる避難訓練を数年に1回程度実施できないものか。
停電になった時の対処方法。
グッズ紹介
地震について
自然が教える災害情報は100パーセント信じるわけではないが当たることもあるので無視はできないと思う。
避難所に事前に避難する場合の必要&不要な持ち物を知りたい
自宅は阪神淡路大震災以降、耐震基準が見直された後に建築された低層階マンション(SRC仕様)に住んでいること、年齢等から避難場所等に移動するより自宅にいたほうが安全であることが想定されますが、停電その他で食料の加工・確保が難しくなる場合、緊急時食料、飲料水等配布の場所や時間を速やかに把握する方法等、事前に知識として蓄積したいので、市内全体を対象とした講座もちろん大事ですが、少なくとも学校区や町会レベル(範囲)を対象とした関連講習会を開催していただくことが今後必要だと考えてます。
家庭で作れる防災品
額公民館から時々スピーカー放送されるが、四十万小学校周りまでは聞き取りにくいので、何か別の方法があればと考えています。
経験者のお話し
毎日しなければいけないこと
災害時に絶対やっておきたいこと。逆にやってはいけない事は何か。例えば、ブレーカーを落とすなど通電火災に備えるための行動などです
金沢は洪水被害が多いので、気象についてわかりやすい講座があれば、例えば降水量が10mmと言われてもピンとこない、理解して対処できる防災と兼ねて開いていただけたら。
①過去に町会長や町内会の防災委員などで防災訓練で避難場所に集まり、例えば「段ボールの囲いやAEDの扱い方などいくつかの体験をしました。それを体験していない引っこ込み思案の方達に参加してもらえるような催し物、例えば有名アーティストのイベントの後に防災訓練をするとか、参加してもらえるようなことを企画してはいかがですか、又踊り流しの前に香林坊の真ん中や市役所前の広場で非常用持ち出しグッズを展示するとか。②校下の民生委員を妻が兼任しているので、以前台風の時避難場所が設置され小学校の体育館に避難したことがありました、その折民生委員として一人暮らしのお年寄り数人に声掛けしたが、なかなか聞く耳を持たない悲しい思いをしたことがあります。「避難場所に一緒に行きましょ」だけでは無理なようです。いい方法があれば紹介してください。
過去の災害事例と対応策
質問と違いますが、防災無線の音声聞き取り難く、何か分からない事が度々有ります。講座では、非常備品をどの程度迄？とどうコンパクトにまとめて、咄嗟にも持ち出せる様にするか？ を聞いてみたいです。

停電、水道停止の場合の生活
災害に遭遇された方の、体験談など、こうすれば良かった？等講座等でスライド式でみれたら良いかなあ？
ペットとの避難(自宅で猫を飼っているので避難の際どうすれば良いか非常に悩みます)
7/12津幡町豪雨災害で、津幡町竹橋の実家が、床上浸水(最低でも50センチ)で、玄関先から裏口まで全て床上浸水し、7/13～7/23は大変な労力で片付けをし、心身ともに疲弊致しました。もちろん、これまで他県や去年の小松市近辺や、金沢市の浅野川氾濫等は他人事でした。自分の身内友人など近しい人が被災しないと、防災の意識は高まらないと思われれます。被災者のリアルな体験(被災家屋の写真)や被害を少なくする備え、万が一被災した後のおおよその流れなどをシェアするイベントがあれば、少しはリアルに考えていただけるかもしれません。
避難場所の小学校が廃校になるようですが今後はどうなるのか、避難情報がテレビ以外どの様に伝えられるのかが分かりません。
地震や津波に遭って家が壊れた後、どのように生活したら良いか
実際の映像や被災者の生の声
屋外で大きな地震に遭遇した時の対処法
「防災士」の資格取得促進講座
ハザードマップは持っているが、色が複雑すぎてとても見にくい。
備蓄品の配布。例えばペットボトルの水や缶詰や保存食等、何か一品でも配布があると興味がわくのでは。備蓄について説明文やリーフレットだけだとそのうちやった方がいいなと思いつつなかなか行動にうつせない。何か少しでも配布されると、他も用意してみようかと思うかもしれない。
また考えておこうと思います
避難予定の場所で見学や体験すれば、実際に準備するものが想像しやすい。
体験談。
地域での会合、パンフが必要です。自分の家での対策がお粗末だ!
問3?5にあるような警戒区域に入っているかどうかも知らなかったので、注意しなければいけないことを町会レベルで知りたい。
市民の一人一人の一家の防災情報、防災事項等が有れば良いかな。この地域の人は云々と、ひとまとめにされては、じっかんがないかな。
消火器の使い方を学ぶワークショップや、断水時の食材や料理方法を学ぶクッキング講座を、民間のカルチャー教室などを利用して実施してほしい。
住宅の耐震診断や耐震化に関する補助事業などがあれば、それをテーマにした講座に行きたい。